

測量用航空機による被災状況調査(緊急空中写真撮影)

概要: 令和6年9月20日からの大雨による被災状況を把握するため、測量用航空機(くにかぜⅢ)にて空中写真撮影を実施。
国・地方公共団体等に空中写真を提供し、被災状況把握の早期化により、災害対応での素早い判断を支援した。
府省庁名: 国土交通省

- 実施主体: 国土交通省国土地理院
- 実施場所: 石川県輪島市 等
- 事業概要: 令和6年9月20日からの大雨による被災状況調査のため、測量用航空機(くにかぜⅢ)にて空中写真を撮影し、斜面崩壊等の被災箇所を判読。
撮影した空中写真及び被災箇所の判読図を関係機関へ提供するとともに、地理院地図で公開。
- 事業費: 約1.3億円(令和6年度)
- 災害の外力、被害と効果: 令和6年9月20日からの大雨にて、輪島特別地域気象観測所では24時間降水量412mmを観測した。
測量用航空機で撮影した空中写真等を随時、内閣府、国交省、農水省及び石川県等の関係機関に提供するとともに、地理院地図で公開することで、斜面崩壊や土石流等の被災状況の早期把握に貢献し、その後の迅速な災害対応に繋がった。



雨が止み雲が晴れた直後の9月23日、24日に、
測量用航空機くにかぜⅢにて能登半島北部を撮影



空中写真撮影箇所

撮影により確認された被災状況



輪島市久手川町
(塚田川)



輪島市門前町西円山
(R249中屋TN北側)



珠洲市若山町
(斜め写真)

空中写真から判読した斜面崩壊・土石流・堆積分布図

